

由良川森林計画区

次期地域管理経営計画の検討方向

近畿中国森林管理局

次期森林計画の検討方向

- 個々の森林を重点的に発揮させるべき機能に応じて類型化し、**それぞれの機能類型ごとに適切な管理経営**を行い、主伐・再造林等による地球温暖化防止へ貢献します。
- 自然の観察や森林浴などへの森林の利用を目的とする「**レクリエーションの森**」においては、地元住民の進める地域振興策との調整を図りながら利用を推進します。
- 森林共同施業団地においては、協定団体との連携を図りつつ、計画的な事業の実施に努めます。
- 宮津市に所在する駒倉国有林と浅谷国有林及びその中間に位置する民有林の内山地域には、**標高400～700mの範囲にわたって里山ブナ林**が広く分布しています。地域と連携し、希少な里山ブナ林を広く**保護保全する方策**を検討します。
- 路網、高性能林業機械、列状間伐**の3つを組み合わせた**低コスト**で効率的な間伐を推進するとともに、**高齢級の人工林を主伐して再造林**を行って若返りを図り、多様で健全な森林整備を通して生産される**木材の計画的な供給**に取り組みます。
- 安全で安心できる暮らしを確保することを目的とした**治山事業**を実施します。

現行計画は、別添を参照

【由良川森林計画区位置図】



福知山市、舞鶴市、綾部市、
宮津市、京丹後市、京丹波町、
伊根町、与謝野町、

- 由良川森林計画区は、京都府北部に位置し、国有林は主として丹後半島に所在するほか、京都府北部及び中部に小面積の団地が所在。
- 計画区の森林面積は約185千ha そのうち国有林野は約2.8千ha（2%）。
- 国有林の占める割合は低いものの立地条件や地域の要請に考慮しつつ、水源涵養等の公益的機能の発揮に努めています。

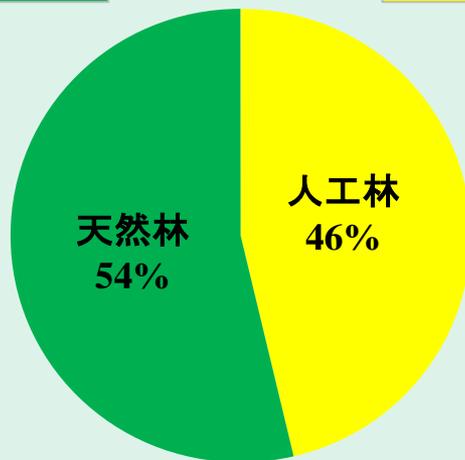
森林資源の状況

○人工林が46%、天然林が54%

○人工林の樹種割合はスギが52%、ヒノキが32%、アカマツ・クロマツが11%等

1,426ha

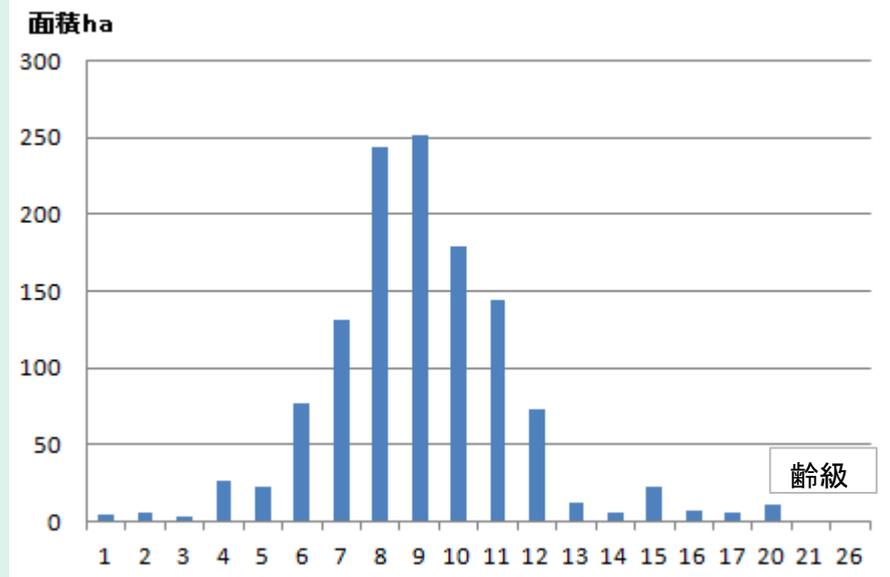
1,230ha



【人工林・天然林の面積割合】

○人工林の齡級構成は8~9齡級に集中。

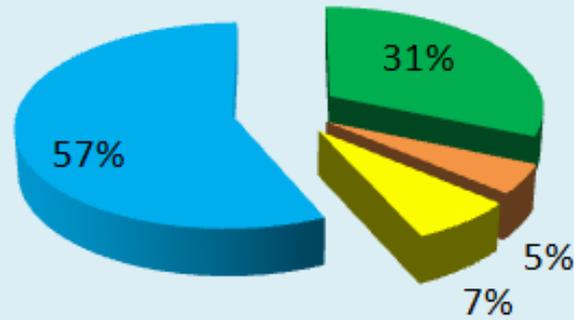
※齡級とは、森林の年齢を一定の幅(5年)をひとくくりにし、林齡1~5年生を1齡級、6~10年生を2齡級、以下3齡級・・・と称する。



【人工林齡級構成】

機能類型に応じた管理経営

○個々の森林を、重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型（5タイプ）に区分し適切な管理経営を行っています。



- 山地災害防止タイプ
- 快適環境形成タイプ
- 水源涵養タイプ
- 自然維持タイプ
- 森林空間利用タイプ

機能類型	面積 (ha)	対象とする森林
山地災害防止タイプ	873	土砂崩れや土砂の流出等による山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に整備する森林
快適環境形成タイプ	0	騒音の防備や大気の浄化等生活環境の形成を目的に整備する森林
水源涵養タイプ	1,573	洪水の緩和、水質保全等を目的に整備する森林
自然維持タイプ	132	原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林
森林空間利用タイプ	195	国民の皆さんが森林とふれあう場として、また、森林ボランティア団体等の活動の場としての森林

国有林野の活用（森林空間利用タイプ）

○レクリエーションの森

レクリエーションの森を1箇所12ha設定し、国民の保健・文化・教育的利用を積極的に推進しています。



種類	名称	概要	面積(ha)
風景林	スイス村	京丹後市のスイス村の背景林として、新緑、紅葉が美しい。	11.80

須川国有林(京丹後市)

民有林と国有林との連携（水源涵養タイプ等）

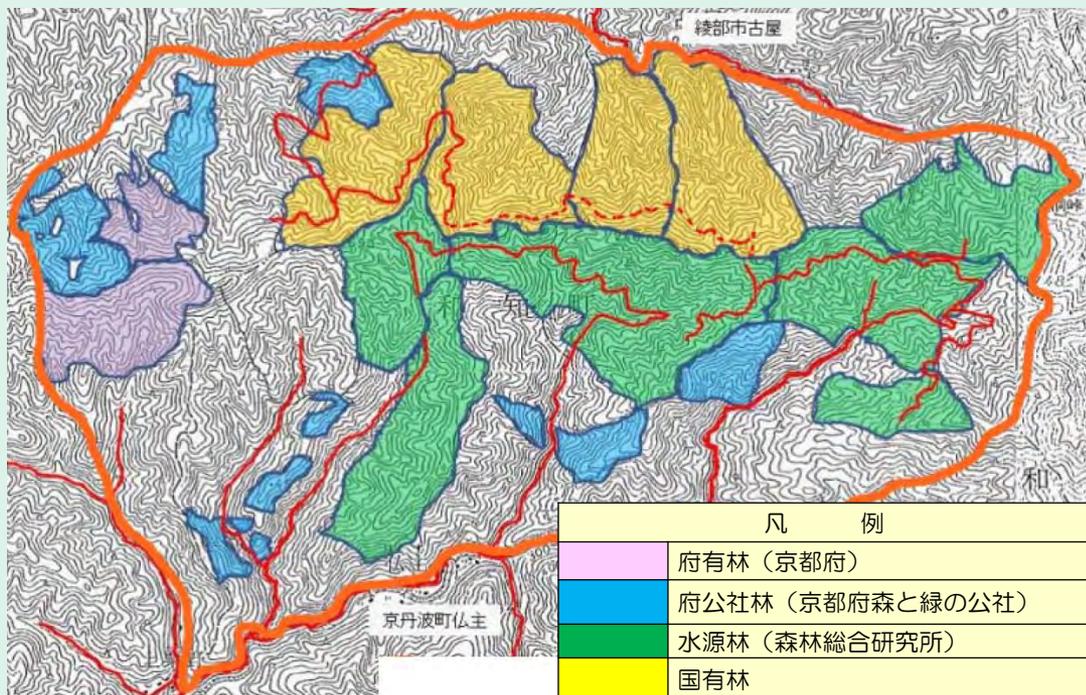
○森林共同施業団地の設定

隣接した民有林と国有林が連携して路網の作設や間伐等の森林整備、間伐材の販売等を実施する「森林共同施業団地」を設定しています。

由良川流域森林共同施業団地位置図(綾部市、京丹後町)



古屋国有林(綾部市)
林業専用道
平成25年度680m開設



凡 例	
	府有林（京都府）
	府公社林（京都府森と緑の公社）
	水源林（森林総合研究所）
	国有林
	既設林道

団地名	面積(ha)		連携した施業内容
	民有林	758	
国有林	294		
計	1,052		

国有林野の維持及び保存（水源涵養タイプ等）

○巨樹・巨木の保存

「森の巨人たち100選」に選ばれた「上津灰のミズメ」の適切な保護管理に努めています。



上津灰のミズメ(綾部市)

林産物の供給等(水源涵養タイプ等)

○木材の供給

路網、高性能林業機械、列状間伐等の3つを組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進し、多様で健全な森林整備を通じて生産される木材の計画的な供給に努めています。

低コストで崩れにくい路網整備



高性能林業機械の活用



列状間伐等の導入



主要事業に関する事項（平成23年度～27年度）

・伐採量

現行計画量 (m3)	
主伐	間伐
-	23,524

・更新量

現行計画量 (ha)	
人工造林	天然更新
-	1.66

・保育量

現行計画量 (ha)		
下刈	除伐	枝打
9.95	7.36	-

・林道

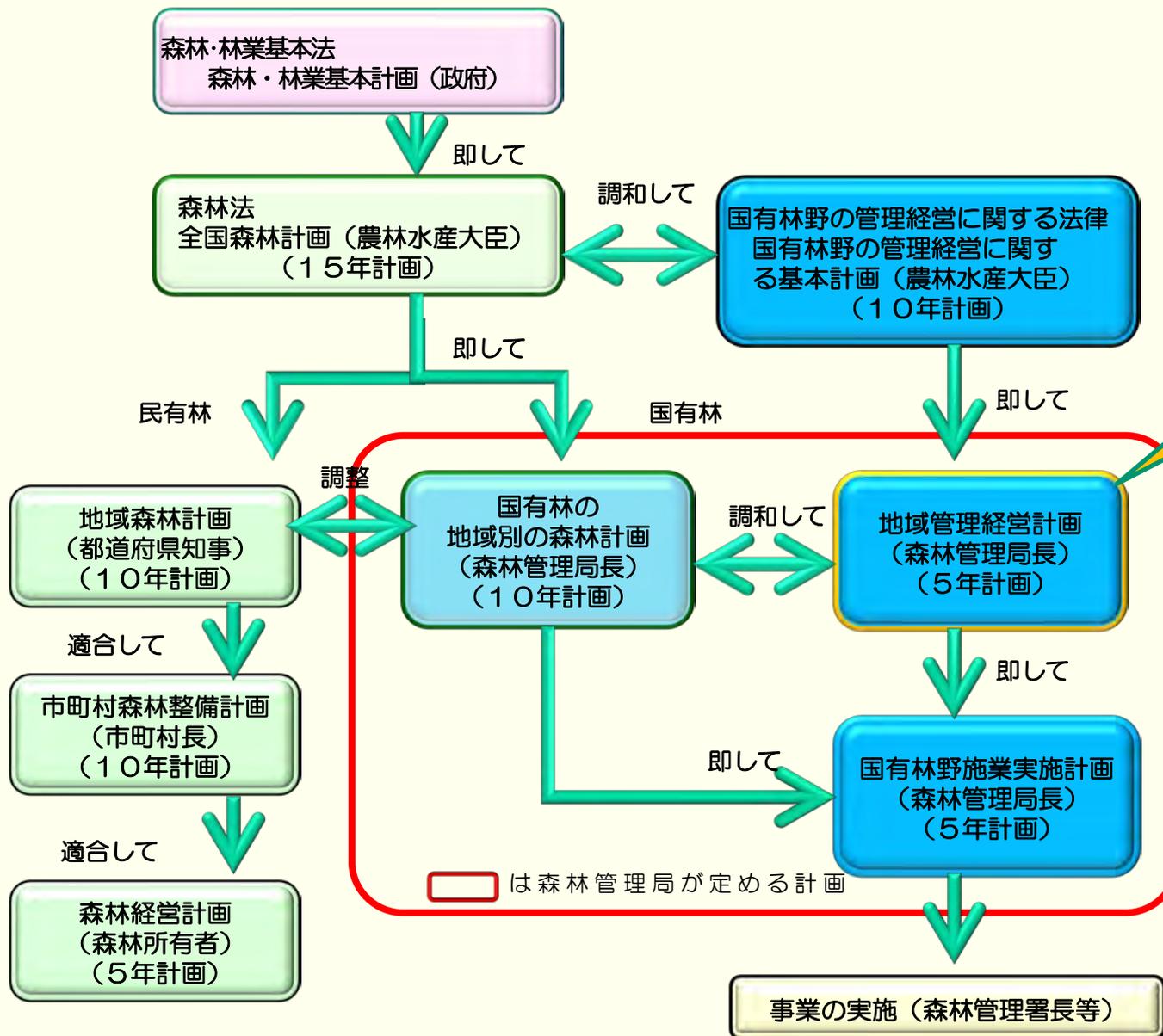
現行計画量		
	箇所数(箇所)	延長(m)
開設	1	3,300
改良	5	5,500



健全な森林の育成、生物多様性の保全、二酸化炭素の森林吸収源対策の目標達成のため、間伐を積極的に進めています。

・治山

現行計画量	
保全施設 (箇所)	12
保安林整備 (ha)	5.44



国民の森林である国有林野について、公益的機能の維持増進を旨とした管理経営の基本事項を定める「5年間」の計画です。

○ 森林計画は全国に158ある計画区という単位ごとに作成されています。

○ 近畿中国森林管理局では管内の40計画区※について順次計画を作成し、それに基づいて国有林の管理経営を行っています。

※地域管理経営計画・国有林野施業実施計画の対象は38計画区